

令和6年1月9日
石川県立大学総務課
TEL:076-227-7220
FAX:076-227-7410

廃棄野菜からガス・電気をつくる実証実験がスタート

県内スーパーセンターにおいて実証実験開始式を行います

石川県立大学発ベンチャーが、県内のスーパーセンターから廃棄される野菜クズを発酵し、メタンガスと電気を生産する実証実験を開始します。本取り組みは、カーボンニュートラルな社会の構築を旨すとともに、災害時のエネルギー自給に寄与するものです。

実証実験開始式が次のとおり実施されますので、お知らせします。

本取り組みは、経済産業省「令和5年度中小企業地域経済政策推進事業費補助金（地域DX促進環境整備事業）地域デジタルイノベーション実証型」に採択されています。

- 1 日 時 令和6年1月12日（金）14時～15時
- 2 場 所 石川県能美郡川北町字朝日63
PLANT3川北店 バックヤード
（メタン発酵施設が設置されています）
- 3 内 容 廃棄野菜から発酵生産したメタンガスを使用し発電するデモを行います。
また、メタンガスでお汁粉の炊き出しを行います。
- 4 出 席 者
主 催 者：石川県立大学発ベンチャー 環境微生物研究所(株)
代表取締役社長 馬場 保徳（石川県立大学 生物資源工学研究所 講師）
出 席 者：株式会社PLANT 社長室長 畷 卓資（はりたくじ）
（予 定）石川県公立大学法人理事長 谷本 正憲
石川県立大学長 西澤 直子
松村物産株式会社 取締役 堀本 寛
株式会社フォーカスシステムズ 事業本部長 松坂 裕治
石川県産業創出支援機構 成長プロジェクト推進部長 川畑 泰樹
株式会社リバネス 代表取締役社長 C00 高橋 修一郎

- 5 進行予定
- 14:00 開式
 - 14:05 挨拶
 - 14:20 概要説明
 - 14:30 メタンガス発生・発電デモ
 - 14:40 閉式
 - 14:45 炊き出し（お汁粉）
 - 15:00 終了

※時間はおおよその予定で、変更する可能性もあります。

6 事業概要

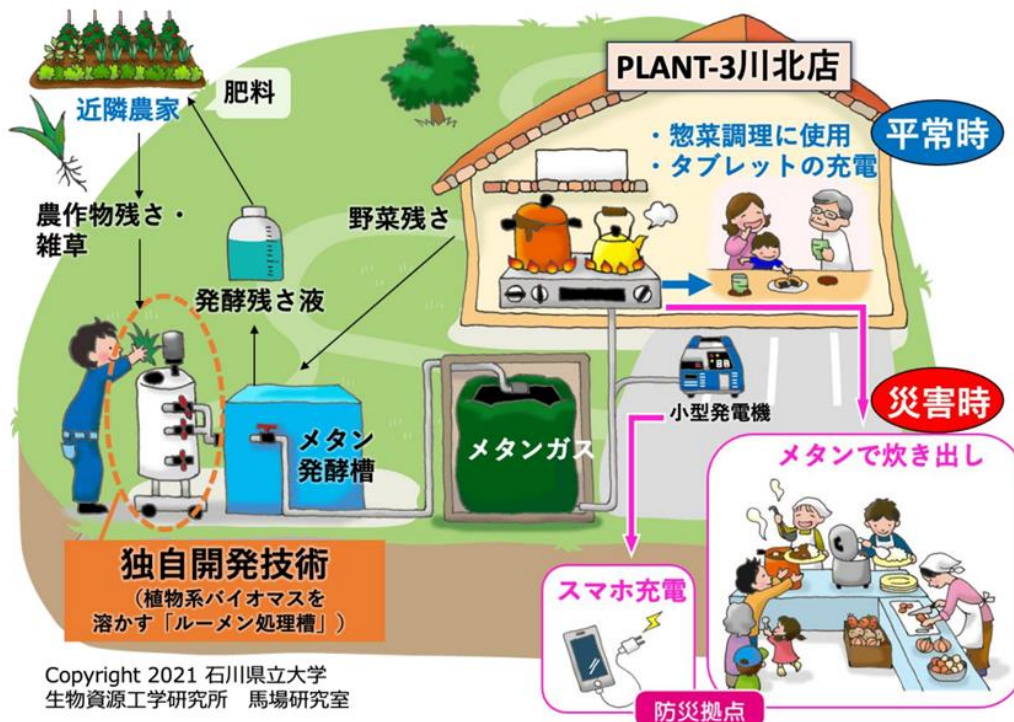
【自立運転可能なルーメンハイブリッド型メタン発酵システムによる
植物バイオマスからのエネルギー生産】
～顧客の廃棄物処理費ならびに光熱費削減を通じた循環型社会の実現～

野菜クズなどの農作物残さは、世界で年間 35 億トンにのぼり、その有効活用が求められている。

私たちは、草を食べる牛の胃袋（ルーメン）でメタンが生成されることにヒントを得て、その仕組みを再現したルーメンハイブリッド型メタン発酵システムを世界で初めて開発した。

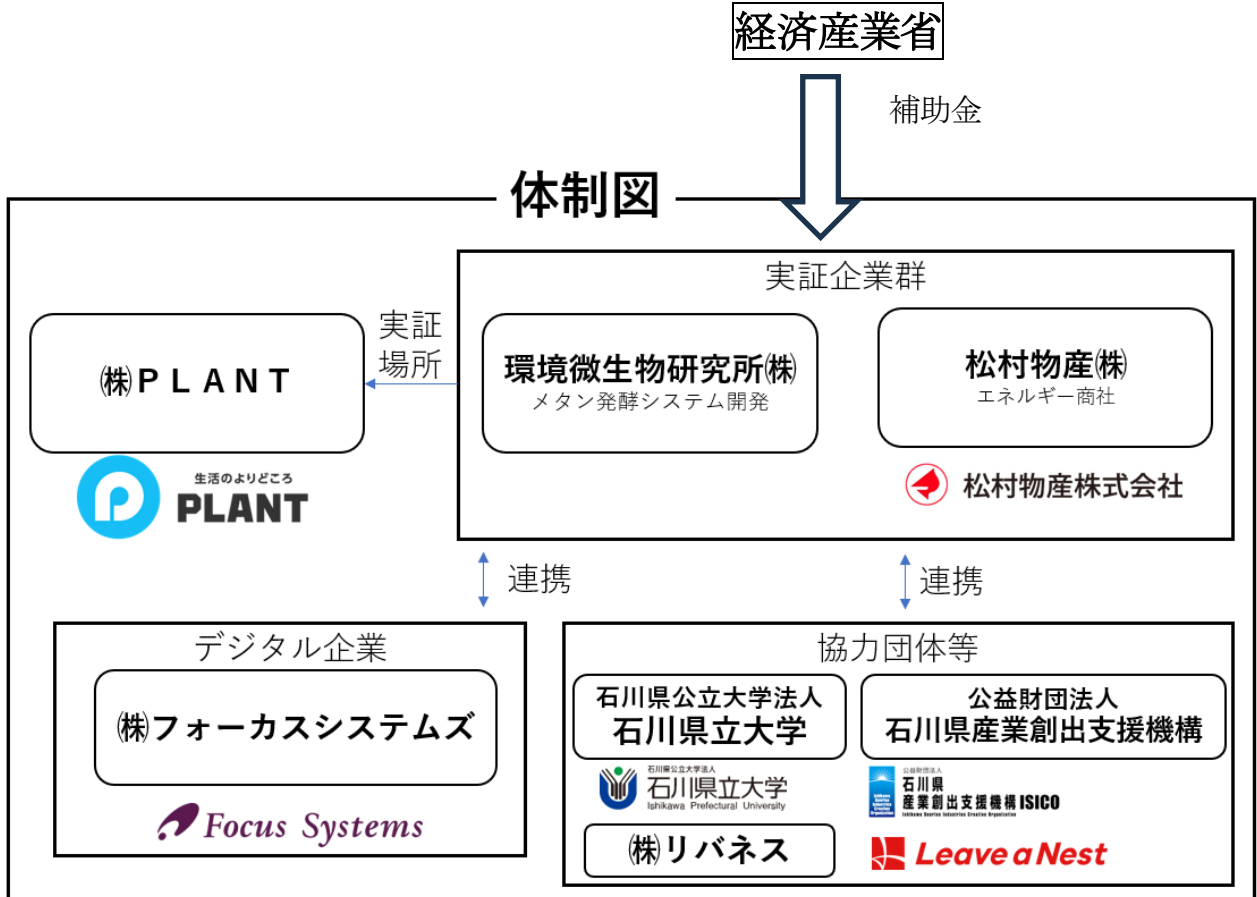
これにより、農作物残さからメタン（都市ガス）と電気を生産することに成功した。

本事業では、日本および世界各地への普及に向け、スーパーセンターに実証装置を置き、デジタル技術による遠隔管理を試みる。



【令和5年度中小企業地域経済政策推進事業費補助金（地域DX促進環境整備事業）
地域デジタルイノベーション実証型への取り組み体制】

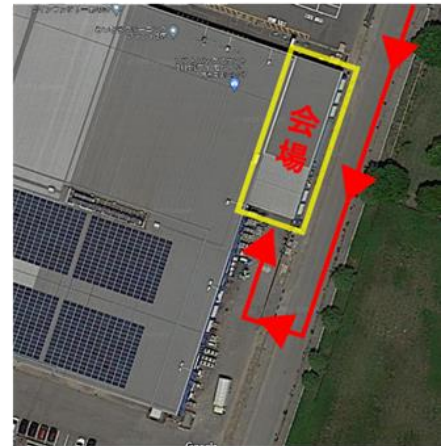
本補助事業へは、下記体制で取り組んでいます。



【実証実験開始式の会場】



駐車場から会場まで (PLANT 3 駐車場からいったん出て横の道路を南へ向かう)



PLANT 3 横の道路を南へ向かう



会場拡大図



現地の写真